

パイン#51-72E

1. 系統 二液性アミン硬化型エポキシ樹脂系特殊膨潤炭塗料(特化則の対象物質を非含有)
2. 特徴
- 1) 従来のコールタール系と異なる「環境対応型塗料」。
 - 2) 厚塗りが可能で、厚塗りしても硬化は遅れない。
 - 3) 密着性が良好で、可とう性を保持し、耐衝撃性に優れる。
 - 4) 耐水性・耐海水性・耐薬品性・防食性に優れる。
3. 用途
- 1) 海水中・淡水中・土中の鋼構造物の防食塗装用。
 - 2) 水圧鉄管・タンク・槽類の内外面防食塗装用。

4. 塗料性状

項目		内容			
容 姿		2液性			
荷 姿		20kg セット、4kg セット			
色 相		黒色(標準色)、錆色			
光 沢		つや消し			
密度 (23℃)	塗料	1.37(主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.85			
加熱残分		73wt%			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	—	2時間	90分	60分
	硬化*	—	36時間	24時間	16時間
標準膜厚		150μm(80μm)			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			
貯蔵安定期間(20℃)		12ヶ月			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

*硬化乾燥時間は、歩行及び膜厚測定が可能となる目安の時間を示す。

6. 施工上の注意

- 1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使いきる。
- 2) 気温が10℃未満となる環境では塗料の硬化速度が著しく低下するため使用しないでください(パイン#51-82Eへ変更)。
- 3) 希釈にはパイン#5100溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- 4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- 5) エアレススプレー塗装の場合は塗料を60~80メッシュの金網でろ過する。
- 6) 薄塗りは塗膜欠陥の原因となります。必ず所定の膜厚が確保できるよう注意する。
- 7) 上塗り塗装までの塗装間隔が長くなると、密着不良を生じることがありますので、必ず規定範囲内で塗り重ねる。
- 8) 取扱上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

5. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		ISO-St3(SSPC-SP3)以上			
調合法		主剤:85部、硬化剤:15部(重量比)			
熟成時間		約30分(20℃)			
可使時間	5℃	10℃	20℃	30℃	
	—	8時間	6時間	3時間	
塗装方法		エアレス塗装、(刷毛塗り)			
使用シンナー		パイン#5100溶剤			
塗 装 法	塗装方法	エアレス塗装		刷毛塗り	
	希釈率	0~10wt%		0~10wt%	
	標準使用量	0.54kg/m ² (0.29kg/m ²)		0.16kg/m ²	
	標準膜厚	150μm(80μm)		60μm	
	ウエット管理膜厚	250μm(150μm)		100μm	
エアレス塗装条件		1次圧0.5MPa(5kg/cm ²)以上 2次圧12MPa(120kg/cm ²)以上 チップNo.163-417~725			
塗装間隔	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	最小	—	30時間	24時間	16時間
	最大	—	7日		

7. 適合する塗料

下塗:パイン#6010、パイン#6010T他
上塗:パイン#7020H、パイン#1520他

8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—
エポキシ樹脂表示 硬化剤表示	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン

9. 使用上の注意 [警告]

- 1) 引火性の液体である。
- 2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事本部(塗料担当)

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番24号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251